

# ウールマーク品質基準

## 品質基準 AF-1 : 2016

### 羊毛わた入りアパレル製品

#### 製品

ウールマークおよびウールマークブレンド・ラベルは、本品質基準の要件を満たすことを条件として、製品に適用される。

- 羊毛または羊毛と他の繊維との混用わた入り  
これらの製品は、外側カバー織物の間にわたの層がある。カバー織物は、羊毛または別の繊維とする。

## 基本品質基準（取扱表示にかかわらず全製品）

特性	試験方法	合格基準
ウールマーク わた、層の羊毛混用率	155	新毛 100%
ウールマークブレンド わたまたは層の繊維混用率 羊毛繊維混用率：以上（%） 非毛繊維混用率：未満（%）		新毛 50% 50%
わたまたは層に含まれる羊毛の重量（g/m <sup>2</sup> ：以上）	13	50
わたに含まれる羊毛の油脂分（%：以上）	136	1.0
わたに含まれる羊毛の植物夾雑物（%：以下）	IWTO 19	0.7
シェル織物からのわたの吹き抜け	266	合格すること
交絡およびフェルト（級：以上） （ノップス入り製品のみ） （1×7A サイクル後）	274	3—4

- この表は、必ず下記の注と併せて読むこと。

### 注

#### 1. ウールマーク TM155：羊毛混用率

ウールマーク製品の羊毛混用率は、品質基準 F-1～F-4 に完全に記載されている。  
ウールマークブレンド製品の羊毛混用率は、品質基準 F-5 に完全に記載されている。

#### 2. ウールマーク TM13：わたまたは層に含まれる羊毛の重量

コメントなし。

#### 3. ウールマーク TM136：DCM 抽出分

ジクロロメタン抽出物では、ポリエステルからの低分子量ポリマーの抽出により正しい結果が得られない（高くなる）ため、ポリエステルを含むウールマークブレンドおよびウールブレンド製品の場合、使用する溶剤はメタノールとする。

#### 4. IWTO -19

最新版の IWTO 試験方法を使用する。

#### 5. ウールマーク TM266：吹き抜け

吹き抜け試験は、完成品で実施する必要がある。  
一般に、かさの高い羊毛の方が移行しにくい、繊維が細くなるほど、かさに関係なく、移行する可能性が高くなる。ケンピ（有随）を含む羊毛またはごく粗い繊維のブレンドは避けるべきである。

#### 6. ウールマーク TM274：交絡とフェルト化

この試験は、ノップス入り製品のみに適用される。

## 追加品質基準（ドライクリーニングのみ製品用）

取扱注意：ドライクリーニングのみ

特性	試験方法	合格基準
合計寸法変化率（%：以上）	ISO3175 ノーマル	緯 -5
サイクル数および種類： 3 × ISO3175 ノーマルまたは CDT		経 -5
3回のドライクリーニングサイクル後の外観：わた		著しい外観変化がないこと

- この表は、必ず下記の注と併せて読むこと。

### 注

#### 1. 試験手順

ISO 3175 ノーマルまたは同等の商業ドライクリーニング試験（CDT）に従ってドライクリーニングを 3 サイクル実施する。試験で製品の試料を使用する場合、試料に寸法を適切にマーキングし、長さおよび幅の寸法変化率を評価する。

-5 < DC は、製品が 5%以上縮んではならないことを示す。

#### 2. ドライクリーニング後の外観

「合格」とは、ドライクリーニング後の繊維の凝集、フェルト化、結合が最低レベルであることを示す。ドライクリーニング製品の合格を判定する際には、指定の洗濯サイクル前後のわたの外観が考慮される。

追加品質基準（手洗い製品用）

取扱注意：手洗い（平干し）または手洗い（吊り干し）

特性	試験方法	合格基準	
緩和寸法変化率（%：以上） 1×7A サイクル	31	緯 経	-4 -4
フェルト寸法変化率（%：以上） 1×7A サイクル	31	緯 経	-5 -5
合計寸法変化率（%：以上）	31	緯 経	-6 -6
湿潤アルカリ堅牢度（未染色を除く） 変色（級：以上） 羊毛汚染（級：以上）	174		4 4
手洗い堅牢度 変色（級：以上） 羊毛汚染（級：以上）	250		3-4 4
洗濯後のわたの外観 2×7A サイクル	—		著しい外観変化がないこと

- この表は、必ず下記の注と併せて読むこと。

注

1. ウールマーク TM31：寸法安定性

-5 < DC は、製品が 5%以上縮んではならないことを示す。

試験で製品の試料を使用する場合、試料に寸法を適切にマーキングし、長さおよび幅の寸法変化率を評価する。

2. ウールマーク TM174：湿潤アルカリ堅牢度

この試験は、染色されたわた材料のみに適用される。

3. ウールマーク TM250：手洗い堅牢度

この試験は、染色されたわた材料のみに適用される。

4. 洗濯後の外観

合格とは、洗濯後の繊維の凝集、フェルト化、結合が最低レベルであることを示す。手洗いの表記がある製品の合格を判定する際には、指定の洗濯サイクル前後のわたの外観が考慮される。

追加品質基準（洗濯機洗い製品用）

取扱注意：洗濯機洗いー平干しまたは洗濯機洗いー吊り干し

特性	試験方法	合格基準
緩和寸法変化率（%：以上） 1 x 7A サイクル	31	緯 -4 経 -4
フェルト寸法変化率（%：以上） 1 x 5A サイクル	31	緯 -5 経 -5
合計寸法変化率（%：以上）	31	緯 -6 経 -6
湿潤アルカリ堅牢度（未染色を除く） 変色（級：以上） 羊毛汚染（級：以上） 他繊維汚染（非毛の主たる他繊維）	174	3-4 4 3-4
機械洗濯堅牢度（未染色、漂白製品を除く） （A法、B法とも） 変色（級：以上） 羊毛汚染（級：以上） 他繊維汚染（非毛の主たる他繊維）	193	3-4 4 3-4
洗濯後のわたの外観 （1 x 7A + 1 x 5A サイクル） ノップス以外の製品	-	著しい外観変化がないこと

- この表は、必ず下記の注と併せて読むこと。

注

1. ウールマーク TM31:寸法安定性

-5 < DCは、製品が5%以上縮んではならないことを示す。

試験で製品の試料を使用する場合、試料に寸法を適切にマーキングし、長さおよび幅の寸法変化率を評価する。

2. ウールマーク TM174：湿潤アルカリ堅牢度

この試験は、染色されたわた材料のみに適用される。

3. ウールマーク TM193：機械洗濯堅牢度

未染色・漂白製品については評価しない。

「他繊維汚染」は、隣接する織物の中で最も重度に移染した繊維として定義される。

本試験は、2つの部分に分かれている。

パート A：過ホウ酸塩が入っていない標準的な洗剤

パート B：過ホウ酸塩入りの標準的な洗剤

両試験方法を実施し、両方の結果を報告しなければならない。

製品が A には合格したが、パート B では不合格であった場合、追加のラベル要件を厳密に守り、洗濯で漂白剤を含む洗剤を使用する場合に発生しうる問題を防止しなければならない。この場合、衣類に添付するすべてのラベルおよび札に、以下の表記を行わなければならない。「ウールマーク承認洗剤を使用して洗濯すること」（またはこれに類似する内容）。これらの追加要件の詳細は、ザ・ウールマーク・カンパニーから入手できる。

4. 洗濯後の外観

「合格」とは、洗濯後の繊維の凝集、フェルト化、結合が最低レベルであることを示す。洗濯機洗いの表記がある製品の合格を判定する際には、指定の洗濯サイクル前後のわたの外観が考慮される。

## 補注

### 1. マシンウォッシュブルの取扱注意の一部としてのタンブル乾燥

ラベルに「タンブル乾燥」と表示する場合は、その製品を Woolmark Management Group に提出しなければならない。Woolmark Management Group は指定ウールマーク試験所に製品を提出し、そこで該当する基準に適合しているかどうかの試験および評価が行われる。製品は、マシンウォッシュブル取扱表記で指定された洗濯サイクル（7A または 5A）を行った後にタンブル乾燥する。

製品の合格を判定する際には、洗濯・乾燥サイクル前後の外観が考慮される。

### 2. 使用後の外観保持性

（洗浄中に加え）使用中にフェルト化が起こる可能性がある。注意表記に関係なく、すべての製品が使用時に許容程度の外観保持性を示すことが重要である。

使用後に満足できる外観を保持するには、防縮処理した羊毛を使用する必要がある。